

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
保健医療福祉行政論Ⅰ	1年次 後期	必修	講義	1単位（15時間）	篠田 浩子 ※
授 業 概 要					
保健医療福祉行政は、日本国憲法第25条の生存権「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」を実現するための公的な仕組みである。この保健医療福祉行政がどのような考え方で、どのように行われているのか、保健医療福祉行政の基礎を学修する。					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療福祉行政の考え方（理念）を述べることができる。 2. 保健医療福祉行政の仕組みと活動概要を述べることができる。 3. 保健医療福祉行政の財政の仕組みについて述べるができる。 4. わが国の社会保障制度の概要を述べるができる。 					
実務経験のある教員					
篠田 浩子： 市町村での現場経験を踏まえて、保健医療福祉行政の基礎となる理念、仕組み、財政、社会保障制度の概要について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-8	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療福祉行政の考え方（理念） <ol style="list-style-type: none"> 1) 保健医療福祉行政の根拠 2) 保健医療福祉行政の基礎となる概念；①公衆衛生 ②健康 ③プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション 2. 保健医療福祉行政の仕組み <ol style="list-style-type: none"> 1) 保健医療福祉行政の活動分野と活動の概要 2) 国・都道府県・市区町村の行政の仕組みと役割 3) 行政情報の公開制度と個人情報の保護 3. 保健医療福祉行政の財政の仕組み <ol style="list-style-type: none"> 1) 国と地方公共団体の財政の仕組み 2) 予算の機能と原則 4. わが国の社会保障制度の概要 <ol style="list-style-type: none"> 1) 社会保障とは？ 2) 社会保障の分類と概要 3) 社会保障の課題 				篠田 浩子 ※
学 習 方 法					
講 義 本科目は4年次の公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱの先修科目である。また、学生にとって聴き慣れない用語や様々な法令が登場する。そのため、各回終了後に復習を行い、講義内容を確実に理解しておくことを推奨する。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論 藤内修二編 医学書院					